



# 戦略計画

2022 - 2027



詳細については、こちらのリンクをご参照ください [www.marist.ac.jp](http://www.marist.ac.jp)

この文書は、MBISの全コミュニティメンバーのために作成されたものです。

戦略計画とは本来、将来を見据え、教育機関が継続的に改善するための目標や願いを定めるものです。学校の戦略計画は、生徒たちに最高の教育を提供するために優先順位を設定し、必要となる戦略を特定するものです。

過去12ヶ月間、MBISの理事会、学校管理職、教職員、保護者、卒業生等が情報を収集し、マリスタが持続的に将来のニーズと課題を満たすための代替案や願望を議論してきました。この戦略計画は、数ヶ月に及ぶ作業の集大成です。この計画では、今後5年間に学校が優先的に取り組むべき分野を特定し、学校を強化・向上させるために実施可能、かつ具体的な取り組みを推奨しています。

どのような戦略計画も、継続的な見直しと振り返りを必要とする文書ですが、この計画は学校を前進させるためのロードマップを提供します。アカデミックリーダーシップチームは現在、計画の実行を任されています。戦略的計画のプロセスは常に未来についてですが、それは必然的に学校の過去と現在の状況も同時に反映しています。このプロセスの一つの成果は、私たちが「可能性」と「機会」から出発するという決意です。

本校の長い歴史と指針は、コミュニティ全体の教育的価値観と信念を長きに渡り、作り上げてきました。しかしながら、この戦略計画は多種多様で不確実な未来へ向けての複雑な計画を目標としています。この戦略計画は、施設の改善、ガバナンスの強化、前向きな校風の更なる育成、学校のアイデンティティの活性化、カリキュラム及びプログラムの改善、必要な分野のスタッフの採用、コミュニケーションの改善に重点を置き、コミュニティ全体で学校の発展を導きます。この戦略プランで決められた指針が、学校の次の確実なる発展段階への原動力となることを目指します。私たちのコミュニティは、献身的な教職員と、思いやりのある熱心な生徒たちがいます。十分な財務体制ではありますが、この計画への取り組みは、学校の歴史と私たちを取り巻く世界が変化していることの認識によって、影響されてきました。

私たちは、グローバルで経済的に多様な世界における本校の役割と立場について考慮する必要があることを認識しております。新しい目標、目的、戦略のいくつかがこれを反映しています：生徒たちにグローバルな視点と人格の育成を提供することの重要性、奉仕とリーダーシップ、そして私たちのコミュニティが包括的で多様であることを確保する必要性です。

その他の目標には、将来のニーズに応えるために適切な施設を提供する方法や、組織の安定性を維持・向上させるための最善の方法についての考えが反映されています。しかし、最終的にはすべての目標、目的、特定された戦略は、最優先事項を表しています。つまり、生徒たちの教育的ニーズに最もよく応え、学校の使命を果たしながらビジョンを達成することです。この計画を通して、マリスタは神戸の地でユニークかつ愛されるような教育機関としてあり続けます。

敬具

山口 純  
理事長

ショーン・ハッチンソン  
校長



## 私たちのミッションステートメント

私たちは、人間関係や人とのつながりが尊重されるような暖かいコミュニティで生徒を教育しています。生徒たちは知識を身につけ、効果的にコミュニケーションをとり、優れた人格を形成し、国際社会で責任ある一員となります。生徒たちが自立して社会へ出れるよう、私たちは厳格なアカデミックプログラムを通じて、世界の環境について探求します。

## 私たちのビジョンステートメント

優れた人格と強い絆によって、私たちの興味のある分野で活躍し、また、地域、及び国際社会にも変化をもたらす機会を生徒たちに与えられる学校です。人間的、社会的、精神的なサポートにより、国際的な視野を養うことができます。多様性を受け入れ、リーダーシップを発揮し、マリスタブラザーズの価値観と伝統を尊重する学校です。

## スクール・コア・バリュー

**優秀であること** - 優秀であり上質を日常の一部とし、すべての行動において常に改善を追求する。

**パートナーシップ** - 持続可能でかけがえのない関係を共に築き、多様性を受け入れ、地域とつながる。

**イノベーションを起こす** - 問題解決のために、革新的で創造的なアプローチを追求する。

**ケア** - 責任感、尊敬、反省を心がけ、世界をより良くするために行動する善良な人格者であること。

## スクールモットー

**Motivate:** 学習は生涯の旅である

**Believe:** とともに世界を変えよう

**Inspire:** 夢を追い求める私たちに続け

**Succeed:** 日本から世界へ



## 目標 A

マリスタは、アカデミック・ラーニングとユニークなプログラムを組み合わせカリキュラムにより、生徒一人ひとりのニーズに合った学習体験を提供します。このカリキュラムは、マリスタのアイデンティティと、生徒それぞれが豊かな人間性を育む取り組みを反映しています。

当校は、教室内外のさまざまな経験を通して、若者が豊かな人間性を育成できるよう支援し、親しみ、思いやりと慈愛に満ちた場所であることを誇りとしています。MAA, MHS, NHS, STUCON等の場面において、生徒たちは個人の多様なニーズが

認められ尊重される、支援的で思いやりのある、環境の中で人間性を育んでいきます。

私たちが研究し、実践するカリキュラムは、すべての生徒にとって総合的であり、個別学習を体験させられるように、本校の指針によって推進されるべきです。スポーツ、芸術、サービス・ラーニング、アカデミック・エクセレンスの4つの基盤は帰属意識を高め、人間性と価値観に基づく学習を提供します

**A1: すべての学習者のニーズを満たすために、書かれた、教えられた、評価されたカリキュラムを開発します。**

### 2023年8月

1. カリキュラムマッピングとデザインプラットフォームを活用し、カリキュラム基準を文書化し、教育、学習、評価の実践との整合性を図ります。

### 2024年8月

2. カリキュラムレビューサイクルの目的と機能を見直し、共同実践、上下・左右の連結、生徒の成績向上に焦点を当てます。
3. IB, PYP と IB MYP のフレームワークを導入し、IB の連続的な学習を完全に実現させます。このカリキュラムは、生徒がIBDPで成功するための準備となります。

### 2025年8月

4. 学習のためのユニバーサルデザインに基づく包括的な指導法を発展させるために、教師をサポートします。

### 2026年8月

5. IBDP の必要事項、基準、作法を含む学校全体のアクションプランとプログラム開発計画を実施します。





**A2: すべての生徒のニーズに応えるため、体育、芸術、生徒たちのリーダーシップが発揮できる活動、サービス・ラーニングの経験を強化します。**

#### 2023年8月

1. スケジュール管理、履修登録、お知らせなどの伝達をサポートするオンライン管理ツールを導入します。

#### 2024年8月

2. 生徒が NHS, MHS, MAA, Stuco等の既存のグループや組織でリーダーシップを発揮できるように指導プログラムをさらに発展させ、学校全体の生徒指導モデルを洗練させます。
3. 地域に密着し、マリスト・グローバル・ネットワークやIBフィロソフィーの活動や理念と直接つながるサービス・ラーニングの機会を企画します。

#### 2025年8月

4. 幼い生徒を含むすべての生徒のために、サービス・ラーニングの機会を設けます。生徒の主体性と選択が中心になるような、倫理に基づく取り組みを通じて、奉仕活動の機会を構築します。
5. 興味のある競技の普及と利用を促進し、生徒に校内、全国、地域対抗の大会に参加する機会を調整します。

#### 毎年のレビュー

6. すべての学年と年齢層を対象としたアフタースクールプログラムを提供します。プログラムの企画及び運営が専門的であり、IBプログラムの改善に貢献することを確認します。
7. Marist English Schoolの知名度を高め、運営方法を改善し、生徒と家族がマリストブラザーズインターナショナルスクールに参加するための学問的・社会的経路を設定することにより、Marist English Schoolの目的および機能を改善します。

**A3: 生徒が将来に備えるために、明確な学問的進路を整備します。**

#### 2024年8月

1. IB DPと並行してコースオプションを提供し、場合によってはオプションの単独コースを提供することで、マリスト高校のディプロマを強化します。
2. 母国語学習をサポートするためのオンライン学習オプションとコースを推進します。

#### 2025年8月

3. 世界共通の学力試験サービスを提供し、確実にサポートします。

#### 毎年のレビュー

4. IBの理念と「基準及び実践」に沿ったカリキュラム、資格、教育・学習方法の選択を通じて、明確で一貫性のある学習の枠組みと連続性を発展させます。

**A4: 主要な方針と手順を見直し、教育・学習への個別アプローチを反映させたものに更新します。**

#### 2023年8月

1. 毎年の方針と手順のReview Cycleを確立します





## 目標B:

**マリスタは、強い帰属意識を持つ学習コミュニティを発展させます。**

学校は教育や学習の場としての役割を持つだけでなく、文化、人種、民族、社会経済、宗教などの多様な背景を持つ人々が集まり、安全であると感じ、サポートされる拠点としての役割も担っています。マリスタは、パートナーシップとケアという二つの中核を原動力としたコミュニティの基盤を目指すべきです。このコミュニティの基盤は人が集まる物理的な場所だけではなく、健康的な暮らしを促進し、情報を共有し、私たちのビジョンである健康とウェルネスの向上が顕著である、ダイナミックではつつとした中心部でもあるべきです。PTAと卒業生は、学校内外のネットワークを構築し、多様な機会提供する重要な役割を果たすべきです。そうすることで、コミュニティと年々輩出されてきたマリスタの卒業生たちが過去を振り返り、今の現状を知り、未来を見据えることができます。マリスタは、学校のアウトリーチプログラムなど、様々な組織や取り組みとの関係を結ぶよう努力する必要があります。そうすることで、生徒のパフォーマンスを向上させ、神戸や日本での活動を促進し、人に良い影響を与え、特定の問題について生徒を教育することが可能になります。

**B1: 学校全体の生徒および学校コミュニティのサポートサービスを改善します。**

### 2023年8月

1. 社会的、精神的、心理的なカウンセリングサービスを改善します。
2. 進路指導・進学指導の充実を図ります。

### 2024年8月

3. ウェルネス委員会を設立し、学校コミュニティをサポートする方法とサービスを推進します。
4. 学校全体のデジタルシチズンシップとオンラインセーフティプログラムを開発し、実施します。
5. PTA、卒業生、Marist English School、生徒主体のクラブ活動等のために必要なスペース等を確保し、計画・そして発展させます。

### 2025年8月

6. 学習支援サービスを改善し、実施します。



## 毎年のレビュー

7. 児童保護とセーフガードの実践と手順を改善します。
8. カフェテリアの食事の品質とサービスを向上させます。

**B2: 精神的、感情的、社会的、身体的ウェルビーイングを向上させる学習プログラムの優先順位を決め、開発し、提供します。**

### 2023年8月

1. 新入生・帰国生のオリエンテーションプログラムを導入・改善・実施します。
2. 新入生オリエンテーションのためのパディシステムを計画します。

### 2024年8月

3. IBディプロマ・プログラムに特化したアドバイザリー/メンタリング・プログラムをさらに発展させます。

### 2025年8月

4. 野外活動教育/アウトリーチ・プログラムを改善・実施します。
5. モンテッソーリから12年生までの生徒を対象としたヘルスプログラムをさらに発展させます。

### 2026年8月

6. モンテッソーリから12年生までの生徒を対象とした宗教プログラムをさらに発展させます。

**B3: MBISを卒業後の日常に備えるため、グローバルコンピテンシーを身につける生徒をサポートします。**

### 2024年8月

1. プログラミング、コーディング、ロボティクスなどの学習体験を提供するだけでなく、デジタルシチズンシップスキルを促進するデジタル学習プログラムを開発します。

### 2025年8月

2. IBプログラムに沿って、SDGsをカリキュラムに組み込み、人のためになる持続可能な開発のために行動するよう若者を奨励します。

### 2026年8月

3. IBプログラムに沿って、グローバルコンピタンスが、生徒たちに世界を探求し、様々な視点から考慮する力を身に着け、アイデアを発信し、人のためになる行動を取ることを確実にするカリキュラムを開発します。
4. IBプログラムに沿って、公平性、卓越性、経済的競争力を高めるために、グローバルで文化的なコンピテンシーを育成するための枠組みを実現します。



## 目標 C:

マリストは、地域社会とのつながりを学校のアイデンティティの中心に据えています。私たちは、すべての地域社会の人々との関わりとつながりを強化します。

地元や地域の政府機関や企業との関係を強化することは、今後、学校にとって優先すべきことです。このような関係は、双方が恩恵を受ける相互関係であることが望ましいです。保護者や卒業生とのつながりを維持することは、学校の発展のさまざまな段階を理解する上で重要です。また、学校コミュニティとしてのアイデンティティを形成する上でも大切なことです。地域社会との関係強化を最優先事項に持つてくるということは、日本や地域の国際的な教育環境の中で、当校が常に適切な存在であり続けるために必要です。このような関係を強化することで、学校の知名度を上げ、グローバルな視野を広げることができます。

**C1: PTAとマリスト卒業生とのつながりを強化し、関西のビジネスコミュニティとのコネクションを強化します。その目的は学校が提供するサービスを多くの人に知ってもらい、将来的に地域密着型の学習体験を可能にする土台を作るためです。また、学校の資金調達チャンスの増加と確保も推進します。**

### 2023年8月

1. 学校は、Marist Alumni Associationの運営に責任を持ち、卒業生のネットワーク活動を増やすための仕組みとコミュニケーション方法を開発します。
2. PTAの活動を支援し、メンバーと協力し、学校の存続に貢献するための資金調達活動のターゲットを絞るようにします。
3. マリスト・グローバル・ネットワークと再びつながり、マリストの価値観を広めます。

### 毎年のレビュー

4. デジタルプラットフォームを活用し、卒業生間をつながりを増やしなが管理し、学校のイベントや取り組みについて定期的なコミュニケーションと情報共有を行います。学校全体の取り組みをサポートする卒業生のネットワークを確立します。

**C2: 政府および企業の助成金、スポンサーシップ、資金調達を通じて代替的な収入源にアクセスするための関与戦略を策定し、実施します。**

### 2023年1月

1. 神戸市および兵庫県を通じて利用可能な補助金について調査します。

### 2023年8月

2. グローバル企業の従業員を惹きつけ、校内の多国籍化を高めるために、Corporate Contribution Schemeを作成し、実施します。
3. 学生募集のマーケティング戦略、及びコミュニケーション戦略を策定し、実施します。
4. 国内の学生が、グローバルコンピテンシーと言語習得を促進する真の国際環境の中で、通常のカリキュラムにアクセスするための語学力向上を支援するブリッジングプログラムの開発を推進します。
5. Development Officeを設立します。この部署では、寄付者と担当職員が緊密に連携し、相互に関心のあるイニシアティブ、プロジェクト、またはプログラムを企画します。





- 奨学金や施設整備を支援するため、慈善寄付で構成される教育基金(Education Endowment fund)を設立します。

#### 継続中

- 主要な施設プロジェクト、特定のプログラム、イニシアティブのスポンサーとなる企業との関係を構築します。

### C3: 関西・神戸地区でMBISをより広めるために、自分たちのあり方を意識的に考えます。

#### 2026年8月

- 学校の指針がIBの理念に適切であり、沿ったものであることを確認するためのReview Cycleを導入します。

#### 毎年のレビュー

- マーケティング・コミュニケーション戦略を策定し、実施することにより、アイデンティティの認知度を高め、我々の目的とビジョンについて(校内外に)共通理解を深め、我々の価値とIBプログラムを推進します。



## 目標D:

マリスタはモチベーションが高く、献身的で有能ある教職員を集め、生徒の人間性の育成と、前向きな学習を促進する優れた教育を提供します。よって、マリスタは多くの才能を育てることができます。

当校の評判は、教員及びスタッフの室、プロフェッショナリズム、専門知識によって大きく左右されます。私たちは意欲的な教員を採用、育成、質を維持することを目標としています。教員は質の高い、最新の国際教育を提供するグローバルリーダーとして学校を前進させるために、熱意のあるチームによって支えられているのです。

学業成績が優秀であることは、私たちにとって重要なことです。しかし、生徒が試験で好成績を収めることよりも、私たちは生徒をより深く教育することを目指すべきだという、バランスのとれた考えを持っています。私たちは、生徒が学び、成長する過程で、一人ひとりがマリスタの価値観に合った重要なスキルや特性を身につけることを目指します。私たちは、さまざまな教育法や学習スタイルを駆使して、教師と生徒の双方が学習に対する能力と情熱を高めるよう、挑戦と奨励を行っていきます。



この目標を達成するために、私たちは常に上質な指導を目指します。私たちの教師は、専門的な実践力を持っています。彼らは指導に専念し、若者に思いやりのある育成に力を注いでいます。私たちは、優れた教職訓練を教師に提供することで、彼らの強みをさらに高めていきます。また、学校全体で観察、指導、専門的なコーチングを行う習慣を確立することで、教師をサポートしています。

学習コミュニティを構築していく上で、人材への投資は非常に重要です。学校は教職員を支援するために教職訓練のための資金を提供しているが、全校規模での計画は策定されていません。学校全体の職業訓練計画は、生徒の学習成果の向上に焦点を当てるべきである。また、全校規模での職業訓練計画は、生徒の成長と評価のプロセスと連動させる必要がある。学校全体の職業訓練の計画及び管理は、主要な優先事項、つまり教育法を改善するための適切な原則と実践を特定することに、焦点を当てるべきです。

#### **D1: ビジョンと戦略計画に沿ったスタッフの維持・採用するための方針と手順を見直します。**

##### **2023年8月**

1. 人的データと分析、雇用と安全な採用活動、研修、報酬、成長と発展をサポートするオールインワンのオンライン人事管理システムを調査、選択、導入します。

##### **毎年のレビュー**

2. MBISが人材を惹きつけ、維持する能力を高めるために、雇用条件のレビューを毎年確立します。

#### **D2: 専門的な成長の機会を設けて実施します。また、優れた教育やリーダーシップを発揮できるよう支援し、正式な研修や指導プログラムを取り入れます。**

##### **毎年のレビュー**

1. 学校全体に焦点を当てた職業訓練計画を作成します。カリキュラムのつながり及び流れ、探究、評価、学習へのアプローチ、サービス・ラーニングを目的としています。これらは、国際バカロレアの必須要件も満たしていなければなりません。
2. 運営スタッフの専門的な成長に従事します。また、厳格な評価管理プロセスを実施し、毎年見直すことを確実にします。これには、運営スタッフがIBトレーニングを受ける機会も含まれるべきです。

#### **D3: 日本とその国の労働法との関係に基づき、インターナショナルスクールを運営するための雇用方法を展開します。**

##### **毎年のレビュー**

1. 雇用の方法を見直し、本校のプロセスが日本の労働法に合致していることを確認します。
2. 財政的な責任を果たしつつ、質の高い教育を提供できるような人員効率化モデルを開発し、実施します。



**D4: 理事会の機能を学校コミュニティにより明確になるようにするプロセスを規定し、学校の将来の方向性と発展を全員に知らせる決まり等に関するコミュニケーションプロセスを設立します。**

#### 毎年のレビュー

1. 学校長の業績を評価する理事会の手続きを、学校全体に明確になるようにします。
2. 学校全体の風土の調査を毎年実施します。
3. 包括的な年次理事会報告書を作成し、毎年5月に年次総会を開催し、学校関係者全員を招待します。



## 目標 E:

**マリストでは、慎重な運営管理、多様な収益、そしてすべてのコミュニティメンバーの成功を実現させる信念を通じて、持続可能な未来を実現します。**

より持続可能な未来に向かうには、戦略、規律、そしてマリストのコミュニティ全体の総力を結集することが必要です。学校の施設と資産管理は、現在、重大な課題となっている分野です。学校は、人材と施設に戦略的に投資すると同時に、最高の透明性と説明責任を持って運営する必要があります。

**E1: 学生や地域社会のニーズに応える、財政的・環境的に持続可能なキャンパスを、現在、そして将来にわたってさらに発展させます。**

#### 2023年4月

1. 今後20年間の見取り図となるキャンパス再開発/マスタープランを策定します

#### 2023年8月

2. 持続可能な財政を確保するために、財務戦略を策定します。

#### 2027年8月

3. 学校全体でスポーツと芸術を校内に広めます。これは、十分な資源や資材のある芸術とアスレチックプログラムを実施するための施設を建設することによって行われます。
4. 生徒、教師、スタッフ、保護者、卒業生に安全で健全な学習環境を提供するために、キャンパス施設の再開発を行います。キャンパスは、500人以上の生徒に十分なキャパシティと機能を提供する必要があります。
5. 環境に配慮した持続可能なキャンパスを整備します。このキャンパスでは、環境にとって最善の方法が設立され、維持されます。

**E2: 地域社会の体験、行政の効率化、デジタルシチズンシップとグローバルコンピテンシーを向上させるテクノロジー戦略を策定し、実施します。**

#### 毎年のレビュー

1. 生徒の学習成果を向上させ、学校運営のニーズを考慮したテクノロジー戦略を立案・実施します。

**免責事項: MBIS戦略計画は定期的に見直される文書であり、理事会はすべてのステークホルダーとの協議プロセスを通じて、特定の目標、目的、戦略およびスケジュールを変更する権利を留保します。**





## キャンパス再開発イメージ図



レンダリング イメージ - フィールドに面した北館



レンダリング イメージ - メインから見た南館

免責事項: これらの画像は、説明のみを目的としており、MBIS と JLL の間の初期の話し合いから得られた概念図であり、キャンパス再開発の最終的な設計を表すものではありません。



レンダリング イメージ - 背景に面した西館



レンダリング イメージ - フィールドに面した西館

免責事項: これらの画像は、説明のみを目的としており、MBIS と JLL の間の初期の話し合いから得られた概念図であり、キャンパス再開発の最終的な設計を表すものではありません。